

2年 家庭総合
食生活の授業

加藤さん(農業生産法人株式会社カトウファーム)から

米づくりの話を聞きました

農業という仕事について(この職業を選んだ理由、仕事で大切にしていること等)
農業生産法人について(農業生産法人とは、農業生産法人の条件、なぜ法人に?等)
ファームのお米づくりへのこだわり、高校生へのメッセージ、その他、質疑応答



米づくりの話に加えて、「農業という職業について」、「仕事をする事」についてもお話いただきました。田植えの忙しい時期にもかかわらず、ご夫婦で1クラスずつ4回もお話いただきました。また、加藤さんの高校時代のお話や家族のこと、震災時の話もあり、加藤さんのお人柄と楽しい話に引き込まれました。

加藤さんへのお礼状

話を聞いて、将来加藤さんのように仕事を楽しめ、かつ人のためになる仕事をする人になりたいと思いました。

インターネット販売の話でサイトを立ち上げればどんどん注文が入ってくるだろうと思っていました。しかしそうではないと聞き、やはり直接販売でもネット販売でも作っている米の**宣伝が大変なのだ**と改めて感じました。

今のうちからたくさんの失敗を経験して、将来仕事を楽しめる、生きがいの持てる人間になりたいです。

震災の影響がある中で笑顔を忘れずに楽しく農業をされている話を伺い、とても感動しました。農家はただ作物を作るだけでなく、地域の活性化やご近所との交流で人間関係を深めていくすごい仕事なのだと思います。話を聞いて自分のなりたい職業について改めて考えることができました。

「辛いときこそ笑顔」ということばが心に響きました。福島は震災があったからみんな暗いわけではなく、震災があったからこそ、こうやって笑顔でがんばっているという前向きな考え方は私のこれまでの考え方を大きく変えてくれました。私の周りにはいつも笑顔の友だちや家族がいます。知らない間に私は勇気や元気をもらっているのだと改めて分かりました。私も勇気や元気を与えられる人になりたいです。

お話しの中で「楽しくやることが大事、人とのつながりの大切」が一番心に残っています。どんな辛いことや苦しいことがあったとしても、笑顔でいることを忘れてしまっただけでは、そこから前に進むことはできないと思います。そして笑顔でいることで人とのつながりも生まれてくると感じました。私は部活動のマネージャーで年上の方との対応の仕方が分からなくなって顔に出てしまうことがあります。ですが、笑顔でいれば関係も良くなると思いました。農業は奥が深いなと感じることのできる1時間でした。

農業は1人で作っていくものではなく、まわりの人と支え合って共有していくものだと学びました。また、SNSやFacebookなどを通じて世界とつながっていることがわかり、興味深かったです。

なぜ農業をしているのかという理由のひとつである荒れた土地をつくりたくないという話が特に心に残っています。その時、私は、誰かのために働いていきたいと心から思いました。そして、このような思いを持って取り組んでいるからおいしいお米が作れ、たくさんの人とのつながりができているのだと思いました。

少子化で農業者が減り、これからが不安で少しでも農業に携わってほしいという強い気持ちが印象深く伝わってきました。また、奥様の「震災時の母の思い」を聞き、自分の母親もこう考え、悩んでいたのだなと感じることができました。

加藤さんの守るべきものを一生懸命守っていく姿勢はとてもしっかりいいなと思います。私も将来苦しいことやつらいことがあっても、守るべきもののためにあきらめず努力していきたいです。